

度会町：6町の地域連携で人材や資金を呼び込む！中山間地域一体の脱炭素・資源循環プロジェクト

脱炭素先行地域の対象： **度会町中心エリア、多気町VISION周辺エリア**

主なエネルギー需要家：住宅698戸、民間施設105箇所、公共施設15箇所

共同提案者：多気町、明和町、大台町、紀北町、大紀町、(一社)三重広域DXプラットフォーム、三重広域連携スーパーシティ推進協議会、(株)オリエンタルコンサルタンツ、(株)アドバンテック、シン・エナジー(株)、ヴィソン多気(株)、朝日ガスエナジー(株)、(株)三十三銀行、いせしま森林組合、(株)東出林業、(有)ナカムラ電気設備、自然応用科学(株)

取組の全体像

「デジタル田園都市国家構想推進交付金」等で、複数自治体が広域連携してデータ連携基盤やデジタル地域通貨等を実装しているエリアの**6町で地域新電力を設立**し、ノウハウや体制の共有などに**地域連携**で取り組み、効率的な脱炭素化と地域課題解決に取り組む。「度会町中心エリア」と「多気町VISION周辺エリア」で導入する木質バイオマス発電設備や廃棄物発電設備では**6町から未利用材や食品残渣などの地域資源を収集し、活用**することで、脱炭素と資源循環を促進。このほか、EVを活用した広域周遊観光にも取り組む等、**6町で共通する地域課題の解決に連携して取り組み**、地域活性化の実現を目指す。

1. 民生部門電力の脱炭素化に関する主な取組

- ① **6町で地域新電力会社を設立**。まずは度会町・多気町の2町で電気小売、PPAやZEB・ZEH改修等を実施
- ② 「度会町中心エリア」で、**6町の未利用材等を供給する地域連携による木質バイオマス発電**(400kW)と太陽光発電(3,415kW)を導入。既存の電力システムを活用したマイクログリッドを構築
- ③ 「多気町VISION周辺エリア」で、太陽光発電(5,019kW)と、学校給食やVISIONで発生する**食品残渣を活用した廃棄物発電**(50kW)を導入。自営線によるマイクログリッドを構築
- ④ **日光を遮って育成するかぶせ茶の特性を活用した茶畑へのソーラーシェアリング** (550kW)を導入



大型商業リゾート施設「VISION」

2. 民生部門電力以外の脱炭素化に関する主な取組

- ① デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用して実装済みの観光ポータルや**デジタル地域通貨を活用**し、観光客や地域住民の排出量を低減させる行動に対し、**インセンティブを付与**
- ② **木質バイオマス発電**で発生するバイオ炭を肥料として活用することにより**CO2を貯留**するほか、栽培ハウスや福祉施設に**発生熱を供給**
- ③ 一大観光拠点であるVISIONを中心として、日本自動車工業会のMSP構想との連携やEVを活用して6町が一体となって脱炭素ツーリズムを振興し、観光周遊を促進

3. 取組により期待される主な効果

- ① **地域新電力**による度会町・多気町での電気小売、PPAやZEB・ZEH改修等の取組により得られた**知見・ノウハウや体制を6町で共有、展開**することで、効率的に**6町全域での脱炭素を推進**
- ② 度会町に整備する木質バイオマス発電設備や多気町に整備する廃棄物発電設備に対して**6町で連携して**間伐材や未利用材、食品残渣を供給することで、**地域の未利用資源の活用**を図るほか、**木質バイオマスサプライチェーンの構築**により地域の雇用の創出や**廃棄物輸送コストの低減**等に貢献
- ③ 周遊する交通手段や観光コンテンツの整備による交流・関係人口の増加

4. 主な取組のスケジュール

	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
地域新電力会社協議・設立	開始					
遊休地への太陽光発電設備の計画・導入			開始			
公共・民間施設への太陽光発電設備の計画・導入/ZEB・ZEH化			開始			
木質バイオマス・廃棄物発電設備の計画・導入			開始			
公用車、地域事業者車両のEV化・EVステーション導入				開始		
EVカーシェアリングの導入					開始	
木質バイオの廃熱・バイオ炭利活用						開始
データ連携基盤、デジタル地域通貨を活用した環境貢献活動へのインセンティブ付与(利用促進)						開始
脱炭素エコツーリズム計画・実施						開始